

目標達成計画

作成日: 平成 26年 2月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域との連携で消防訓練を行うことが出来ない。	最低年に1回は地域の方と一緒に消防訓練を行う様にする。	長崎市のグループホームは毎月1回は消防訓練を行う様になっているので、避難訓練であったり、消火訓練の誘いを運営推進会議などで行い、地域との連携を更に高めるようにする。	随時
2		ひやり はつとを基に会議を行い、その内容の申し送りの徹底を行う。	全職員が、ひやり はつとの内容の把握と、対策を考える場を作り、全職員が知らない事が無い様にしていく。	ひやり はつと基に月1回各フロア毎に会議を行い記録を残し、記録は各フロアにファイリングする。会議を行ったフロアのリーダーが別のフロアに記録を渡す際に内容を伝えていく。この会議では、身体拘束・虐待等の話や、職員さん意見を聞く場にもしていく。	毎月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月